

「森の茶室」紀陽銀行本店で展示

平成24年に和歌山木材協同組合で製作しました「森の茶室」が紀陽銀行のご協力を得て、本店ロビーにて展示いたしました。展示期間は、4月の7日から11日の間。

「森の茶室」は建築家広谷純弘氏の企画、東京理科大学ブロックシステム研究会の協力を得て製作したもので、簡単なブロックを積み上げることによる木質空間の創造と紀州材の需要拡大、木の良さのPRのために制作したものです。

これまでに、9回の展示や貸し出しを行ってきました。特に、昨年には大阪中之島のグランキューブでのL&Dでの展示は好評でした。

今回、紀陽銀行のCSR活動の一環として協力をいただきました。銀行に用事で来られたお客さんが物珍しそうに眺めたり、木の匂いをかいだり、また木の空間を楽しんだりしていました。展示を見て、問い合わせの電話も事務局に掛かってきました。ちょっと高いですが、利用してくれる方があればと期待をしています。

